

平成三十一年度俳人協会千葉県支部俳句大会入賞作品

第一位・俳人協会千葉県支部長賞

寒見舞花の切手を選びて貼る

菅谷たけし

第二位・若潮賞

浮いて水輪潜りて水輪かいつぶり

谷原 壯平

第三位・菜の花賞

てふてふの拵げてゆきし湖明り

佐久間由子

優秀賞

ぶらんこの着地は母の声の中

猪瀬 達朗

釣銭に土の混じりし苗木市

野口 放生

わが影に吾の蹟く大暑かな

藤城 良子

味噌作る納屋の賑はひ結日和

神宮司和子

行々子沼より晴れて来たりけり

石井 孝子

月の夜は月の色して白椿

大久保文夫

煤逃げや夫の癖字の置手紙

山本よう子

日の当たるところも風の冬野かな

高橋 健文

直立の写真の父や昭和の日

木村麻利子

佳作

浜小屋の北窓塞ぐ荒筵

鈴木 由江

千年の滝を支ふる巖かな

辻 忠樹

凧糸の天に繋がるたるみかな

田辺 うめ

落花生ぼつち単線の駅が暮れ

北村 操

逃げ水を逃がし逃がして岬まで

三澤 久子

介護とは互ひの笑顔水仙花

土屋 明子

大夕立越後を叩き佐渡へ去る

藤井 元基

居残りのごと校庭の雪だるま

唐笠 俊郎

而うしてもとの二人や葛湯吹く

原 瞳子

干蒲団打てばどこかで同じ音

大島 宏

下萌や岬のバスに手をあげて

平野みち代

廃校に動く日時計囀れり

新津 黎子

竜天に登るはるかにはやぶさ2

西村 英雄

コスモスコスモスパステルカラーの漣

市原 久義

赤ん坊抱いて白息一つにす

中村 世都

地中より祭のごとく落花生

小俣たか子

房総の春は海より大地より

張替 和子

しんしんと時つもりゆく蟻地獄

沢辺たけし